

# 第 12 期中間決算について

スカイネットアジア航空株式会社(本社:宮崎県宮崎市、代表取締役社長:伊東 正孝)の第 12 期中間決算(平成 20 年度 9 月期)について、下記のとおり報告致します。

## 記

### 1. 平成 20 年度 9 月中間期の業績(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

#### (1) 営業実績

(単位:百万円)

	営業収入	営業利益	経常利益	当期純利益
20 年 9 月中間期 (前年中間期増減率)	11,072 ( 1.3%)	△563 (-)	△531 (-)	△574 (-)
19 年 9 月中間期	10,934	36	△45	13
20 年 3 月期	22,342	378	63	113

(注)営業収入には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 財務状況

(単位:百万円)

	総資産	自己資本	自己資本比率	資本金
20 年 9 月中間期	4,531	△434	△9.6	1,934
19 年 9 月中間期	5,337	39	0.7	1,934
20 年 3 月期	4,793	139	2.9	1,934

### 2. 旅客搭乗実績(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

※コードシェア販売分を除く

	当上期(前年上期差)	前年上期
宮崎－東京線	70.3%(-7.7P)	78.0%
熊本－東京線	72.4%(+3.2P)	69.2%
長崎－東京線	65.8%(+1.6P)	64.2%
鹿児島－東京線	71.7%(+6.9P)	64.8%
路線合計	70.0%(-0.5P)	70.5%

3. 運航実績（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

	就航率		運航便数		欠航便数(うち天候起因)	
	今上期	前年同期	今上期	前年同期	今上期	前年同期
4路線合計	97.1%	98.5%	6,120	6,480	181(32)	99(74)
前年上期差	-1.4%		△360		+82(△42)	

4. 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表(平成20年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	期別 前中間会計期間末 (平成19年9月30日現在)		当中間会計期間末 (平成20年9月30日現在)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成20年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%
流動資産	2,525	47.3	2,045	45.1	2,517	52.5
固定資産	2,800	52.5	2,479	54.7	2,266	47.3
繰延資産	11	0.2	6	0.2	9	0.2
資産合計	5,337	100.0	4,531	100.0	4,793	100.0
(負債の部)						
流動負債	3,117	58.4	3,634	80.2	3,038	63.4
短期借入金	324		524		324	
その他	2,790		3,108		2,711	
固定負債	2,180	40.9	1,331	29.4	1,614	33.7
長期借入金	1,492		1,167		1,330	
その他	688		163		284	
負債合計	5,297	99.3	4,966	109.6	4,653	97.1
(純資産の部)						
株主資本						
資本金	1,934	36.2	1,934	42.7	1,934	40.3
資本剰余金	—	—	—	—	—	—
利益剰余金	△1,894	△35.5	△2,369	△52.3	△1,794	△37.4
純資産合計	39	0.7	△434	△9.6	139	2.9
負債・純資産合計	5,337	100.0	4,531	100.0	4,793	100.0

## (2) 中間損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別 前中間会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)		当中間会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		前事業年度の 要約損益計算書 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
		%		%		%
営業収入	10,934	100.0	11,072	100.0	22,342	100.0
事業費用	10,897	99.7	11,636	105.1	21,963	98.3
営業利益(損失△)	36	0.3	△563	△5.1	378	1.7
営業外収益	6	0.1	70	0.6	12	0.1
営業外費用	87	0.8	38	0.3	328	1.5
経常利益(損失△)	△45	△0.4	△531	△4.8	63	0.3
特別利益	61	0.5	8	0.1	68	0.3
特別損失	—	—	45	0.4	10	0.1
税引前 中間純利益(損失△)	16	0.1	△568	△5.1	121	0.5
法人税、住民税及び 事業税	2	0.0	5	0.0	8	0.0
中間純利益(損失△)	13	0.1	△574	△5.1	113	0.5

## 5. 業績等の概要

当中間会計期間における我が国の経済は、米国金融危機を発端とする景気の後退懸念や原油価格の高騰に伴い、企業の設備投資や個人消費の停滞等、国内景気動向も減速基調となり、先行きの不透明感が一段と強まる状況で推移しました。

航空業界においては、消費動向に伴う航空需要の変動、競争の激化、原油価格の変動が経営環境に与える影響は極めて大きく、引き続き厳しい状況となっております。

このような事業環境の中、当中間会計期間においては、平成 19 年 9 月に路線再編を行った既存 4 路線における安全・安定運航の基盤構築に取り組んでまいりました。また、平成 20 年 2 月に公表した 2008 年度～2010 年度 3 ヶ年の「中期事業計画“Challenge2010”」の初年度として、平成 21 年 2 月に予定している当社初の地方間路線である、長崎－沖縄線及び鹿児島－沖縄線の開設準備を進めております。

運航面では、前事業年度より順次不具合発生率の高い機材の入れ替えを実施しており、平成 19 年 12 月及び平成 20 年 6 月に 2 機返却、8 月には予備機 1 機を導入いたしました。これら航空機の入替により当中間会計期間中は予備機のない運航体制(6 機体制)が一時的に続いたことから、当中間会計期間における全路線平均の就航率は 97.1%と、前中間会計期間の 98.5%に対し 1.4 ポイントのマイナスとなりました。

営業面では、当中間会計期間に発生した機材不具合及び天候等の理由による多数の欠航便、本年 5 月に国土交通省から業務改善勧告を受けたことによる当社便の利用控えはありましたが、全日にわたる SNA バーゲンの設定や、お客様からご利用いただきやすい割引運賃の見直しなどにより、増収となりました。

その結果、各路線の当中間会計期間における平均搭乗率は、東京－宮崎線 70.3%(前中間会計期間より約 8 ポイント減;前年の 1 日 6 往復から 7 往復へ増便)、東京－熊本線 72.4%(同約 3 ポイント向上)、東京－長崎線 65.8%(同約 2 ポイント向上)、東京－鹿児島線は 71.7%となり、前年の路線再編効果として各路線ともに需給の均衡化を図ることができております。

以上の結果、当中間会計期間における実績は、営業収入が 11,072 百万円(前年当期比 1.3%増)となりました。事業費は、10,758 百万円(同 8.6%増)、販売費及び一般管理費 877 百万円(同 11.5%減)となり、この結果、営業損失は 563 百万円(前年同期は 36 百万円の営業利益)となりました。

営業外収益 70 百万円及び営業外費用 38 百万円を加減した経常損失は 531 百万円(同 45 百万円の経常損失)となりました。また、特別損失 45 百万円の計上により、税引前中間純損失は 568 百万円(同 16 百万円の税引前中間純利益)、中間純損失は 574 百万円(同 13 百万円の間中純利益)となりました。

当中間会計期間における営業収入及び事業費の増加は、主として、営業施策による増収や原油価格の高騰に伴う費用の増加によるものであります。

以上

## 別紙 1

## 中間連結財務諸表

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

区分	前中間連結会計期間末 (平成19年9月30日)		当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
		%		%		%
(資産の部)						
流動資産	2,574	47.8	2,081	45.6	2,546	52.8
固定資産	2,802	52.0	2,483	54.3	2,269	47.0
繰延資産	11	0.2	6	0.1	9	0.2
資産合計	5,388	100.0	4,571	100.0	4,825	100.0
(負債の部)						
流動負債	3,163	58.7	3,664	80.2	3,063	63.5
短期借入金	324		524		324	
その他	2,837		3,139		2,737	
固定負債	2,183	40.5	1,339	29.3	1,620	33.6
長期借入金	1,492		1,167		1,330	
その他	691		171		290	
負債合計	5,347	99.2	5,004	109.5	4,684	97.1
(純資産の部)						
株主資本						
資本金	1,934	35.9	1,934	42.3	1,934	40.1
資本剰余金	—		—		—	
利益剰余金	△1,893	△35.1	△2,367	△51.8	△1,793	△37.2
純資産合計	41	0.8	△433	△9.5	141	2.9
負債純資産合計	5,388	100.0	4,571	100.0	4,825	100.0

## 別紙 2

## (2) 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
		%		%		%
営業収入	10,950	100.0	11,084	100.0	22,370	100.0
事業費用	10,904	99.6	11,637	105.0	21,971	98.2
営業利益(損失△)	45	0.4	△552	△5.0	399	1.8
営業外収益	4	0.0	67	0.6	6	0.0
営業外費用	87	0.8	38	0.3	328	1.4
経常利益(損失△)	△38	△0.4	△523	△4.7	77	0.4
特別利益	28	0.3	—	—	28	0.1
特別損失	—	—	45	0.4	10	0.1
税金等調整前 中間純利益(損失△)	△9	△0.1	△568	△5.1	95	0.4
法人税、住民税及び 事業税	2	0.0	5	0.0	8	0.0
中間純利益(損失△)	△12	△0.1	△574	△5.2	87	0.4